
CentreCOM 8208用拡張モジュール

CentreCOM[®] 8202F

本製品は、100BASE-FXポートを8個装備した、CentreCOM 8208用拡張モジュールです。CentreCOM8208の拡張スロットに装着してご使用ください。

基本的な設定はCentreCOM 8208のコンソールポート (RS-232) から行いますので、CentreCOM 8208ユーザーズマニュアルをご参照ください。

目次

| | |
|---------------------|---|
| 使用および取り扱い上の注意 | 2 |
| 保証とユーザーサポート | 3 |
| ご注意 | 3 |
| 商標について | 3 |
| マニュアルバージョン | 3 |
| 各部の名称と役割 | 4 |
| メモ | 4 |
| 装着手順 | 5 |
| 準備 | 5 |
| 装着手順 | 5 |
| 製品仕様 | 8 |

使用および取り扱い上の注意

安全のために必ず守ってください。

本製品を安全に使用するために、以下の事項を必ず守ってください。これらの事項が守られていない場合、感電、怪我、火災、故障などの原因になります。



カバーを外さない

本製品の内部には高電圧の箇所が存在します。感電の恐れがありますので、マニュアルに記載がある場合を除いて、絶対にカバーを外さないでください。ユーザーに必要な部品は内包されていません。



稲妻危険

稲妻が発生しているとき、本製品やケーブルの設置などの作業を行わないでください。落雷により、感電する恐れがあります。



正しい電源を使う

本製品は、製品の底面のラベルに明記された電圧範囲で動作します。ご使用前に必ずご確認ください。



正しい電源コードとコンセントを使う

本製品に電源を供給する際には、本製品に添付されている専用の電源コードをご使用になり、電源コードのプラグ（接地端子付き3ピンプラグ）は、接地端子付きの3ピン電源コンセントに接続してください。不適切な電源ケーブルや電源コンセントの使用により、接地が正しく取られていない場合、本製品の金属部分に触れたときに、感電する恐れがあります。電源コードは無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしないでください。また、圧力がかかりコードがつぶれてしまうような箇所に電源コードを敷設しないでください。

テーブルタップをご使用になる場合、たこ足配線をしないでください。たこ足配線は、火災の原因になります。



通気口をふさがない

本製品の通気口をふさがないでください。通気口をふさいだ状態で本製品を使用すると、加熱などにより故障、火災の恐れがあります。



取り扱いは丁寧に

落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えたりしないでください。



動作温度

本製品は、指定された動作周囲温度の範囲でご使用下さい。動作可能な周囲温度範囲は、マニュアルに記載されています。

特に、本製品をラックなどに組み込んでご使用になる場合、換気には十分ご注意ください。

また、専用のラックが存在する製品については、必ず専用のものをご使用下さい。



異物を入れない

換気口、拡張スロットなどから金属、液体などの異物を入れないでください。本体内部に異物が入ると火災、感電などの恐れがあります。



設置、ケーブル配線、移動は電源を抜く

本製品の設置、ケーブル配線、移動などを行う場合は、必ず電源ケーブルを抜いて行ってください。



次のような場所で使用・保管しない

- ・直射日光の当たる場所
- ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
- ・湿気が多い場所や、水などの液体がかかる場所
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所（静電気障害の原因にもなります）
- ・腐食性ガスの発生する場所



日常のお手入れ

本製品の汚れは、やわらかい乾いた布でふいてください。ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。製品の変形、変色の原因になります。



光ファイバーケーブル・コネクタを直視しない

光ファイバーケーブルの端面や機器側のコネクタなどを目で直視しないでください。強い光を通している場合、目に障害が発生する恐れがあります。

保証とユーザーサポート

製品に添付している「製品保証書」の「製品保証規定」をお読みになり、「お客さまインフォメーション登録カード」に必要事項を記入して、弊社「お客さまインフォメーション登録係」までご返送ください。「お客さまインフォメーション登録カード」が返送されていない場合、保証期間内の無償での修理や、障害発生時のユーザーサポートなどが受けられません。

ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、CentreCOM 8208 ユーザーズマニュアル中の『ユーザーサポートについて』の調査依頼書を(拡大)コピーしたものにCentreCOM8202Fをご使用である旨とその他の必要事項を記入し、下記のサポート先にFAXして下さい。記入内容の詳細は、同書『調査依頼書のご記入にあたって』をご参照ください。

アライドテレシス(株) サポートセンター

Tel: ☎ 0120-860-772 月～金曜日まで(祝・祭日を除く)
10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00

Fax: ☎ 0120-860-662 年中無休
24時間受付

ご注意

本書に含まれる情報は、当社(アライドテレシス株式会社)の所有するものであり、当社の同意なしに、全体または一部をコピーまたは転載しないでください。

当社は、予告無く本書の全体または一部を修正・改定することがあります。

また、改良のため製品の仕様を予告無く変更することがあります。

Copyright © 1998 アライドテレシス株式会社

商標について

CentreCOM、CentreNET はアライドテレシス株式会社の登録商標です。

Ethernet と XNS は Xerox Corporation の登録商標です。

その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

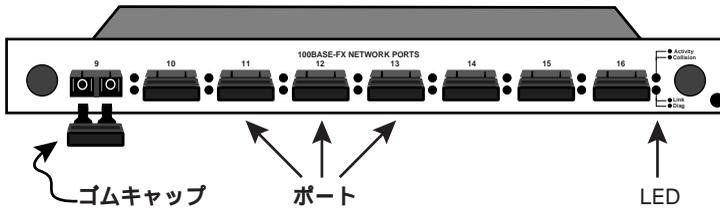
マニュアルバージョン

1998年 3月

ver 1.0 pl 0

初版

CentreCOM 8202F の各部名称とその役割をご説明します。

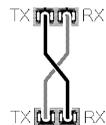


- ゴムキャップ** 埃等の付着防止のため、使用しないポートにはめておきます。
- ポート** 各ポートは 100Mbps の全二重 (Full Duplex) としてのみ動作します。コンソールポートによる設定は行えません (基本的な設定は CentreCOM 8208 のコンソールポートから行います)。
- LED** 各ポート脇に上下 2 個の LED を装備しています。次の 4 種類あります。
- 上側 Activity 下記表をご参照ください。
 - Collision 現在未対応です。全二重 (Full Duplex) で通信するため、点灯しません。
 - 下側 Link 下記表をご参照ください。
 - Diag 通常使用での点灯、点滅はございません。

| LED | 表示色と状態 | 本機の状態 | 異常時の対処法 |
|----------|------------|------------------------|--|
| Activity | 緑 点灯 点滅 | 正常 (接続装置とのリンクが確立) | なし |
| | 消灯 | 正常 (トラフィックなし) | なし |
| Link | 緑 点灯 点滅 | 正常 (接続装置とのリンクが確立) | なし |
| | | 異常 (リンクに問題あり) | ケーブルがきちんと接続できているか、異常がないか (断線等) を確認します。 |
| | 消灯 | リンクが確立していない | ケーブルがきちんと接続できているか、異常がないか (断線等) を確認します。 |

メモ

100BASE-FX 用の光ファイバーケーブルは、クロス接続です。
一方の機器の TX・RX を、相手側機器の RX・TX に接続します。



100BASE-FX の場合、スイッチポートと端末間の接続距離は、最長 2Km です。

CentreCOM 8202F を CentreCOM 8208 拡張スロットに装着する手順をご説明します。

準備

用意する物： CentreCOM 8202F、マイナスのドライバー（大・小各 1 本）、プラスのドライバー（小 1 本）

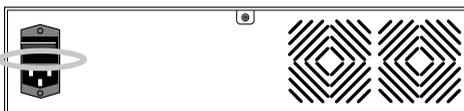


装着作業を行う前に、作業場所を確保してください。
また、ドライバーなど工具類を人に向けたりせず、正しくご使用ください。
以上が守られないと、ケガをする恐れがあります。

装着手順

1. CentreCOM 8208（本体）背面の電源スイッチがオフになっている（下半分を押している）ことを確認します。

この下側が押し下げたこと



2. CentreCOM 8208 に接続している電源コードを取り外します。
電源コードを傷つけないために、電源コードの根元を持って、取り外してください。
3. ケーブル類があれば、取り外します。
安全のため、接続しているすべてのケーブル類（RS232 ケーブルおよび 100/10BASE-T ケーブル）を取り外してください。ケーブル類を傷つけないために、ケーブル類の根元を持って、取り外してください。
4. 本体の拡張モジュール用スロットのカバーのネジを、マイナスドライバー（大）で外します。
ネジを外すと、拡張スロットのカバーが取れます。

このネジを外す



カバーが取れる

5. 本体の背面中央のネジをプラスのドライバーで外します。

このネジを外す



6. ネジをはずしたら、本体の外側を軽く押さえ、本体背面を手で押して本体内部を少し（2～3cm程度）抜きます。

本体左側面からみた場合、
左から右へ本体内部を押し、
本体を少し抜く



7. 本体外カバーを上から取り外します。
取れないときは、手順6での抜きが足りない可能性がありますので、再度手順6を行ってください。

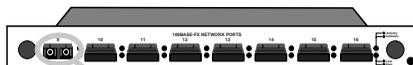


警告

本体外カバーを取り外すと、CentreCOM 8208 の内部がすっきり見えますが、内部には決して手を触れないようにしてください。ケガや故障の原因となることがあり、たいへん危険です。

8. 次のように、CentreCOM 8202F（拡張モジュール）を、手順4であいた拡張スロット部分に差し込みます。装着は、本体の装着用の溝に沿わせて行います。また、各ポートの向きで上下をご確認ください。

ここへはめ込む



スロット
が上側

CentreCOM 8202F
の各ポートの向きが、
右図のようになって
いることを確認する



下図のように、基盤の板で装着
用の溝の下半分を挟むように
ゆっくりと挿入する



装着用の溝（上部分）

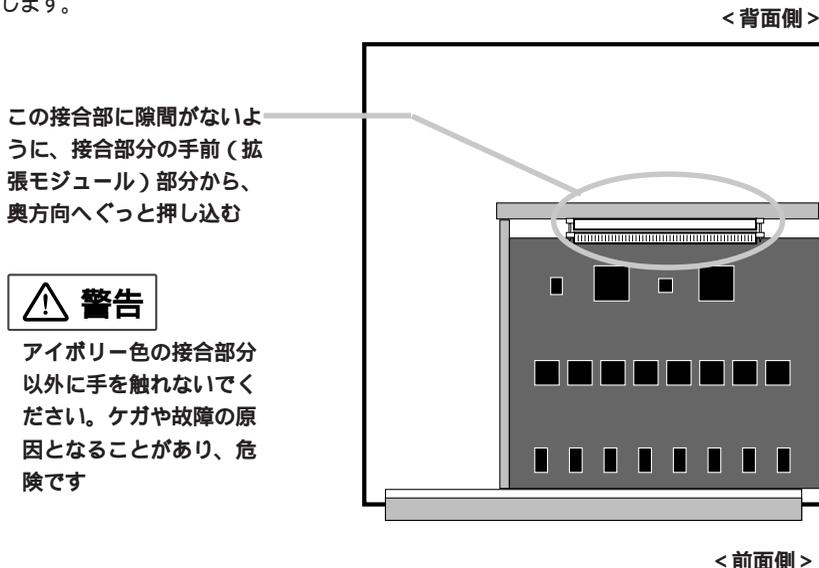
基盤（緑色）

装着用の溝（下部分）

基盤（銀色）

拡張スロットの下部分

9. 拡張モジュールをぐっと奥まで指で押し込みます。
 拡張モジュール正面から、指で押し込みます。このとき、CentreCOM 8202F がかなり前面から飛び出していて、うまく奥へ押し込めないときは、手順 8 で挿入する際間違った溝に差し込んでいる可能性がありますので、再度手順 8 をご確認ください。
10. さらに、次のように、本体上部から見て、CentreCOM 8202F と CentreCOM 8208 の接合部がきちんと隙間なく接触するよう、CentreCOM 8202F の接合部部分を奥側に押し込むようにします。



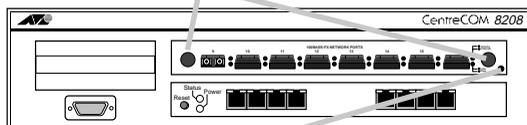
きちんと接合できていると、右図のように、接合部に隙間がありません



11. CentreCOM 8208 の外カバーをかぶせます。
 本体背面側に 2 ~ 3cm ずらして、上からかぶせます。真上からきちんとかぶせようとするとうまくはまりませんのでご注意ください。
12. 本体カバーを前面側に押しつけるようにして、カバーをきちんとはめ込む。
 これで、本体カバーがきちんとはめ込まれます。
13. 本体背面中央のネジをプラスのドライバーを使用して、きちんととめます。
 このネジの穴が本体の穴ときちんとあっていない場合、本体と本体カバーがきちんとはめ込まれていませんので、再度手順 11 ~ 12 をご確認ください。

14. 次のように、拡張スロットのネジをマイナスのドライバー（大）でとめ、さらにスロットストッパーネジをマイナスのドライバー（小）でとめます。

この拡張スロット
のネジをとめる



このスロットス
トッパーネジをと
める

15. ケーブル類を取り付けます。
16. CentreCOM 8208 に付属の電源コードを取り付けます。
17. CentreCOM 8208（本体）背面にある電源スイッチの上半分を押して、電源スイッチをオンにします。

以上で、CentreCOM 8202F を CentreCOM 8208 へ装着する作業が完了です。

製品仕様

| | |
|------------------|---|
| 外形寸法 | 約296 (W) x 230 (D) x 31 (H) mm |
| 重量 | 約1.0Kg |
| 入力電圧範囲 | AC100V |
| 定格入力周波数 | 50/60Hz |
| 環境条件（動作時） | 温度5 ~ 40 湿度20% ~ 80%（結露のないこと） |
| 100BASE - FXポート数 | 8ポート |
| 通信速度 | 100Mbps Full Duplex（全二重）固定 |
| 物理インタフェース | コア：50/62.5 μm、クラッド：125 μm Multi Mode Fiber（SCコネクタ） |